

テニス海外キャンプ通訳コーチからのメッセージ

こんにちは。東京大学1年のT・Mと申します。僕は本当にテニスが大好きで、中学、高校とテニス部に入り、大学でも暇さえあればテニスに打ち込んでいます。高校では石川県の大会において団体戦で準優勝、ダブルスで3位を獲得したことがあります。

今回はご縁があって、オーストラリアでのテニスクャンプの通訳コーチをさせていただくことになったので、キャンプの紹介をさせていただきたいと思います。キャンプが開催されるゴールド・コーストという街は人気の観光スポットで、実際に練習をするKDVスポーツセンターは最近できたばかりなので、施設もコートも最新のものが揃っています。日本と違い、雨の少なく開放的な空間で、思う存分テニスに打ち込める環境が整っています。

このプログラムの醍醐味は何と言ってもオーストラリアという土地で、コーチが全員外国人という、普段とは全く違った環境でテニスができるということです。日本人とは違った感性、考え方を持つコーチからの指導の下、毎日様々なことに刺激を受けながら緊張感を持って練習に励むことで、これまでとは違う新しい強みを得られます。

僕は、何に対しても吸収の早い、若いうちから海外経験をするのは非常に重要だと考えています。大好きなテニスを通じて、日本では決して味わうことのできない様々な経験をすることで視野が広がり、人として大きく成長できます。そのことはプログラム後の人生を大きく変えるでしょう。もちろん不安はあると思います。ですが、少し勇気を出して新しい世界に飛び込んでみれば、誰も知らない新しい自分に出会えるはずです。

僕は通訳コーチとして言語の障壁を取り除くだけでなく、参加者お一人おひとりに寄り添って、テニス面はもちろん、生活面・精神面でも支え、一緒に楽しみながら、ご参加の皆さまが最大限成長できることを約束します。